

# CAX-AD150

通信型アルコール検知器

## 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
本製品は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

### ご使用になる前に必ずお読みください！

本製品は、精密電気機器です。以下の場合、機器に悪影響を及ぼし、正常に測定できなくなることがあります。

- アルコール除菌した直後の手で本体を扱う
- 飲食をした直後に測定する
- 高濃度のアルコールガス、タバコの煙や強いにおい成分などを頻繁にセンサー部に吹き付ける
- 本体に強い衝撃や振動を加える
- 埃、結露、大気中の環境ガス（雑ガス）、においなどが多い場所に保管する

「飲酒しているのにアルコール反応が出ない」「飲酒していないのにアルコール反応が出る」「測定時にエラーになる」など、異常を感じた場合は、「センサーの定期点検について」（P.18）および「故障かな？と思ったら」（P.19）をご参照ください。



### My-KENWOOD(ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。

下記ウェブサイトにて会員規約をご確認になり、My-KENWOOD をご利用ください。

<https://jp.my-kenwood.com>

# 目次

本書の見かた .....	2	測定前の準備 .....	12
安全上のご注意(必ずお読みください) .....	3	電池の入れ方、交換について .....	12
使用者、運転者および安全運転管理者へ .....	4	Bluetooth®Low Energy(BLE)通信設定 .....	13
使用方法について .....	4	測定する .....	14
乾電池について .....	6	データ管理測定モード (BLE ON) で .....	14
異常時の問い合わせ .....	6	測定する .....	14
はじめに .....	7	簡易測定モード (BLE OFF) で測定する .....	17
付属品 .....	7	センサーの定期点検について .....	18
本製品の特徴 .....	7	センサーの定期点検方法 .....	18
使用上のご注意 .....	8	正しくお使いいただくために .....	18
アルコール検知器についてのご理解 .....	8	故障かな?と思ったら .....	19
アルコール検知器本体のお手入れ .....	8	その他 .....	20
廃棄方法について .....	8	メンテナンス .....	20
新品開封後や長期保管後にご使用になる場 .....	8	主な仕様 .....	21
合 .....	8	保証とアフターサービス .....	22
電波について .....	8		
各部の名称 .....	10		
アルコール検知器本体 .....	10		
表示パネル .....	11		

## 本書の見かた

表記	説明
P.10	本書の参照するページを表しています。
お知らせ	手順の補足説明や制限事項について説明しています。

- ・ 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。  
実際と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

# 安全上のご注意(必ずお読みください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で説明しています。その表示と意味をより理解してから本文をお読みいただき、本製品を安全に正しくお使いください。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 <b>危険</b>	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならぬ）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

■ 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 使用者、運転者および安全運転管理者へ

### 警告



道路交通法第 65 条では「何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない」と定められております。本製品が表示する数値はあくまでも目安であり、使用状況にかかわらず誤差が生じます。酒気帯びや酒酔い運転等、あらゆる違法行為を助ける道具に意図的に利用したり、事故や損害事件の法的事実認定に直接利用することはできません。本製品の使用の有無にかかわらず、製造及び販売に携わる関係者は、法的に認められない行為や損害事件に対して、一切の責任を負いません。

本製品を運行管理・業務管理に使用される場合、本製品の測定結果のみに依存した運用及び判断は絶対に避けてください。本製品の使用による損害やトラブルには一切の責任を負いません。

車両の運転中に本製品を使用しないでください。また本製品は呼気中のアルコール濃度を人と争うようなゲームなどに絶対に使用しないでください。故意にアルコール濃度を高めるような飲酒を行った場合、死亡または重体となる危険があります。

## 使用方法について

### 警告



#### ■ 分解・修理および改造はしない

感電・ケガ・液漏れ・発熱・発火・破損の原因となります。



#### ■ 濡れた手で触らない

故障、感電の原因となります。



#### ■ 水洗いしない、濡らさない

感電の原因となります。



#### ■ 故障や異常があるときは使用しない

感電・発火、さらなる故障の原因となります。

## ⚠ 注意



### ■ 強い衝撃を与えない

故障・破損の原因となります。

### ■ ズボンやスカートのポケットに入れたまま座らない

故障・破損の原因となります。

### ■ 息を吹きかけるときに、唾液をかけない

故障の原因となります。

### ■ タバコの煙やスプレー用品などをセンサー部に吹きかけない

故障・誤作動の原因となります。

### ■ 湿気や、直射日光などを避け、炎天下の車内など高温になる場所には保管しない

保管温度/湿度 (-10℃～60℃/ 80%RH 以下) を守ってください。故障・誤作動の原因となります。

### ■ 高濃度のアルコール（エタノール）を連続的に吹きかけない

故障の原因となります。

### ■ 香水・化粧品と同じバッグの中など、においの強い場所には保管しない

故障・誤作動の原因となります。

### ■ 子供の手の届く場所には保管しない

故障の原因となります。

### ■ 濡れる場所に置かない、濡れる場所で使用しない

故障の原因となります。

### ■ 結露させない

保管温度/湿度 (-10℃～60℃/ 80%RH 以下) を守ってください。故障の原因となります。

### ■ 空調機や冷暖房機の側に保管しない

故障の原因となります。

### ■ 本製品を不安定なところに置かない

落下などにより事故やけがの原因となります。

### ■ 表示パネルが汚れたときはすぐに乾いた柔らかい布などで拭く

熱湯や水、シンナー等は使用しないでください。

## 乾電池について



**警告**



■ **分解、修理および改造はしない**

感電・ケガ・液漏れ・発熱・発火・破損の原因となります。



■ **ぬれた手で触らない**

故障・感電の原因となります。



■ **端子を金属などで接続しない**

液漏れ・発熱・発火・発煙・破損の原因となります。



■ **水洗いしない、濡らさない**

感電の原因となります。



■ **火中に投じない、加熱しない**

液漏れ・発熱・発火・破損の原因となります。



■ **液漏れしたときは素手で触らない**

液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。  
液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

## 適切な使い方



■ **単4形アルカリ乾電池を使うこと**

それ以外は、液漏れ・発熱・発火・破損の原因となります。

## 異常時の問い合わせ



**警告**



■ **異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口  
に相談する**

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

# はじめに

「飲酒しているのにアルコール反応が出ない」「飲酒していないのにアルコール反応が出る」「測定時にエラーになる」など、異常を感じた場合は、「センサーの定期点検について」（P.18）および「故障かな？と思ったら」（P.19）をご参照ください。

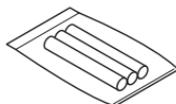
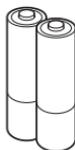
## 付属品

アルコール検知器本体  
×1

単4形アルカリ乾電  
池×2

マウスピース×3

保証書×1



## 本製品の特徴

- 本製品は、呼気（吐き出す息）に含まれるエタノールの濃度を測定し、デジタル数値で表示します。
- センサー部に息を吹きかけるだけの簡単操作でアルコールの有無をチェックします。
- 小型、軽量のため片手で簡単に操作することができます。
- 本製品は用途に合わせて2つの測定モードがあります。

**データ管理測定モード**：本体 BLE 通信設定を ON にすると、スマートフォン\*<sup>1</sup> から測定結果が WEB 管理サービス\*<sup>2</sup> に送信され、離れた場所でも管理できます。

**簡易測定モード**：本体 BLE 通信設定を OFF にすると、本体のみで測定結果を確認することができます。

\*<sup>1</sup> 専用スマートフォンアプリが必要です。（Android 版もしくは iOS 版）

\*<sup>2</sup> WEB 管理サービスをご利用の際は、当社製品ホームページのお問い合わせフォームよりお申込みが必要です。

## 使用上のご注意

### アルコール検知器についてのご理解

本製品は、アルコール（エタノール）を検知する高感度ガスセンサーを使用しています。ガスセンサーは永久的なものではなく消耗品です。日々使用しておりますと、唾液、大気中の環境ガス（雑ガス）や埃、結露、喫煙をされる方ですとタバコのヤニなどがセンサー素子表面部分に付着することとなり、誤測定および測定エラー（無反応の原因）になる場合がございます。また、センサーの特性上、購入後1年経過または2,000回以上測定すると精度が保てなくなります。継続してお使いいただく場合は、本製品を新規購入してください。

なお、呼気には個人差があり、体調・体質・時間帯などによって体内から発生するガスやお薬の服用などにより、お酒を飲んでいないのに本製品が検知してしまうことがあります。そのようなこともご理解の上、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

### アルコール検知器本体のお手入れ

アルコール検知器本体が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性の高いもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。

### 廃棄方法について

使用済みの電池や使用しなくなった本製品の廃棄は、お住いの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。

### 新品開封後や長期保管後にご使用になる場合

- 本製品は特性上、出荷時や数日間の未使用時に一種の待機状態になる場合があります。新品開封後や長期保管後にご使用になる場合は、センサーキャップを開き2〜3回本製品を振って内部に溜まった匂いや湿気を取り除き、空測定（ON/OFF ボタンを押して1〜2回作動させる）してから測定してください。
- バッグやケース等に保管されていた場合も、何らかの臭い成分がセンサーに付着し正確に測定できないことがありますので、上記の要領で空測定を行ってからご使用ください。
- 新品開封後や長期保管後に、空測定を行わず使用された場合、呼気を正常に吹きかけてもエラー表示になることがあります。空測定を行ってからご使用ください。

### 電波について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。

また、分解/改造を行うと、法律で罰せられることがあります。

本製品は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

## 使用上のご注意

本製品の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、販売会社にご連絡いただき、混信回避の処置等についてご相談ください。
- 3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、販売会社にお問い合わせください。

本製品の周波数表示は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波と干渉距離は 10m です。

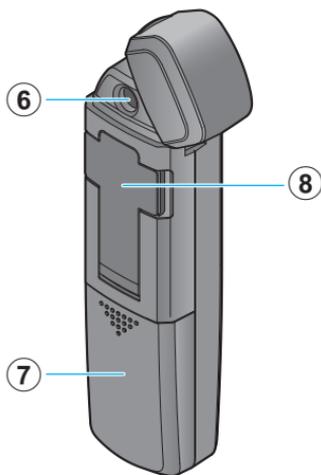
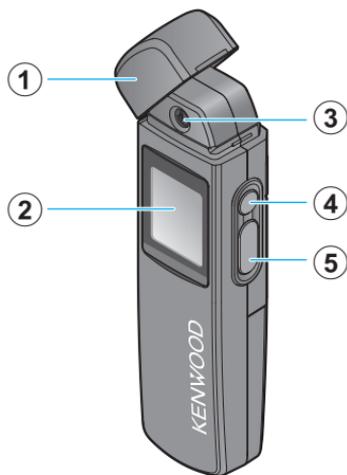
□□□ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- ・ 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本製品を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- ・ 下記の電子機器と本製品との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- ・ 本製品は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

# 各部の名称

## アルコール検知器本体

本製品は付属のマウスピースを使用し、呼気以外の影響を受けにくい「ダイレクトブロー方式」と本製品に息を吹きかける「オープンブロー方式」の2つの測定方式に対応しております。



① センサーキャップ

② 表示パネル

③ 吹き抜け口

④ 小ボタン (BLE 切替ボタン)

⑤ 大ボタン (ON/OFF ボタン)

⑥ 吹き込み口 (マウスピース差し込み口)

⑦ 電池カバー

⑧ マウスピース格納扉

### 【ダイレクトブロー方式】

付属のマウスピースを吹き込み口に差し込み息を吹き込んで測定する方法



「フー」っと4秒

### 【オープンブロー方式】

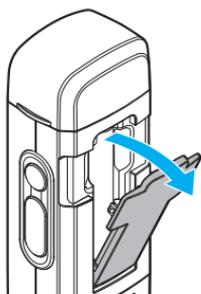
マウスピースを使用せず本体に直接息を吹きかけて測定する方法



「はぁー」っと4秒

## マウスピースの格納方法

- ① 片手で持ち、もう片手で格納扉横の爪部分をつまみ、ゆっくりと開きます。
- ② 格納スペースにマウスピースを入れて、格納扉を閉じてください。



## 表示パネル



- ① 残使用回数/BLE 設定
- ② 測定結果表示/センサー待機時間示/  
電源 ON/OFF 表示
- ③ 電池残量
- ④ Bluetooth<sup>®</sup>LowEnergy (BLE) の接続表示
  - BLE 通信 ON 時 (未接続) : 点滅
  - BLE 通信 ON 時 : 点灯
  - BLE 通信 OFF 時 : 消灯
- ⑤ アルコール濃度単位
  - ※ アルコール濃度表示範囲  
0.00 mg/L、0.05 mg/L～1.00 mg/L  
(0.05 mg/L 未満は 0.00 mg/L と表示され、0.05 mg/L 以上は、0.01 mg/L 刻みで表示します)

# 測定前の準備

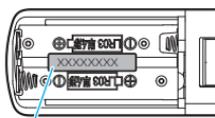
本体で測定を開始する前に、以下の準備を行います。

## 電池の入れ方、交換について

付属の単 4 形アルカリ乾電池を、電池の極性（ $\oplus\ominus$ ）に注意して入れてください。  
また電池残量が減った場合は、市販の単 4 形アルカリ乾電池と交換してください。



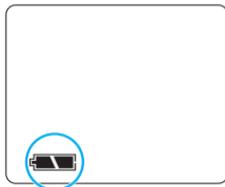
### お知らせ



シリアルナンバー（製造番号）シール

シリアルナンバー（製造番号）シールは、本体の識別に必要なシールになりますので、はがさないでください。

### ■ 電池残量表示と交換の目安



-  : 電池残量は充分にあります。
-  : 電池残量が半分にになっています。交換をおすすめします。
-  : 電池残量が少なく動作しません。交換してください。

# Bluetooth® Low Energy (BLE) 通信設定

本製品は、スマートフォンと BLE 通信し、専用のスマートフォンアプリを使用することで、データの管理をおこなうことができます。

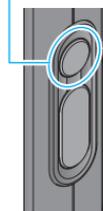
BLE 通信機能の ON/OFF 設定により、データ管理測定モード (BLE ON) と簡易測定モード (BLE OFF) の測定モードでお使いいただくことができます。

## ■ 測定管理モード (BLE 通信機能) の確認・設定方法

### 1 本体側面の「小ボタン」を長押しする

BLE 通信設定画面が表示されます。

小ボタン長押し



設定表示画面



### 2 「小ボタン」を短押しして、BLE 通信設定 ON/OFF を切り替える

BLE 通信 ON 設定時



BLE 通信 OFF 設定時



設定選択中はマークが点滅します。

### 3 選択したい画面表示の状態で「小ボタン」を長押しして、決定する

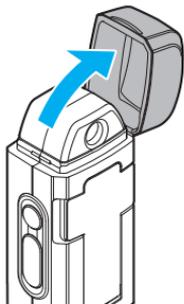
「ピッピッ」と決定音が鳴った後、画面が消灯します。

# 測定する

## データ管理測定モード (BLE ON) で測定する

### 1 センサーキャップを開き、マウスピースを取り付ける

キャップは固定できる位置まで開く



マウスピースは背面の吹き込み口に挿入する



※ 正面の吹き抜け口には差し込まない

※ マウスピースを使用せず、息を吹きかけるオープンブロー方式で測定することもできます。

## 2 専用スマートフォンアプリを起動し、測定準備をする

当社製品ホームページもしくは、下記 2 次元コードをお読み取りいただき、事前に専用スマートフォンアプリをダウンロードしてください。

※ アプリの初回ご利用時には初期設定および WEB 管理サービスへのお申し込みが必要です。  
詳細については当社製品ホームページをご参照ください。

スマートフォンアプリの準備完了後、アプリを起動し、画面右下の「測定を開始する」を押すと、測定準備へ進みます。アプリ内の説明に沿って、測定準備を完了してください。



スマートフォンアプリのダウンロードはこちらから



## 3 本体側面の「大ボタン」を長押しして、電源を ON にする

電源が入ると、自動的に BLE 接続し、測定の準備が完了します。

#### 4 【ダイレクトブロー方式】または【オープンブロー方式】で、息を吹き込む

測定開始前に6秒または14秒の待機時間があります。

前回測定結果	測定前待機時間
0.00 mg/L~0.29 mg/L	6秒
0.30 mg/L~1.00 mg/L	14秒

#### お知らせ

電池挿入後の初回起動時は待機時間が14秒となります。

その後、前回の測定結果によって待機時間が変わります。

電池を抜くと前回測定結果がリセットされ、次の初回起動時は14秒の待機時間になります。

アプリ画面で「4秒間息を吹き込んでください」と表示後、息を吹き込みます。

※ 息が4秒間続くような強さ（呼気量）で吹いてください。一気に吹くと息が続きません。

#### 【ダイレクトブロー方式】

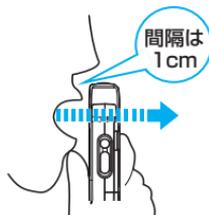
マウスピースを差し込んで測定します。



「フー」っと4秒

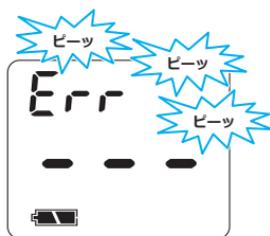
#### 【オープンブロー方式】

マウスピースを差し込まないで測定します。



「はあー」っと4秒

#### エラーの場合



正確な測定ができなかった場合は、「ピーッ、ピーッ、ピーッ」という電子音が鳴り、エラー画面が表示されます。

「大ボタン」を長押しし、一旦電源を切った後、下記をご注意の上、手順3からやり直してください。

- 4秒間息を吹き続けているか。
- マウスピースをしっかりと差し込んでいるか。
- 周囲ににおいやガスが存在しない場所で測定しているか。などを確認してください。

※ 表示された数値はあくまでも目安です。使用状況にかかわらず、若干の誤差が生じる場合があります。

自動車運転や機械操作等の可否を判断するものではありません。

※ 本製品は付属のマウスピースを取り付けて息を吹き込む方法（ダイレクトブロー方式）で感度が設定されており、本体に直接息を吹き込む方法（オープンブロー方式）の場合数値が異なることがあります。

付属のマウスピース消耗後は市販のストロー（外径6mm）をご使用いただけますが、長さを36~38mmにカットしてご使用ください。

- 5 測定が完了後、データを送信する  
アプリ画面の説明に沿ってデータを送信してください。

- 6 電源を OFF にする  
「大ボタン」を長押しして、電源を切り（OFF と表示されます）、マウスピースを取り外し、センサーキャップを元通りに戻してください。



「OFF」表示後、全消灯します



マウスピースは本体背面に格納することができます

※ 電源 ON のままでも、約 1 分後に自動的に電源は OFF になります。

## 簡易測定モード (BLE OFF) で測定する

基本的な操作方法はデータ管理測定モード (BLE ON) と同じです。  
詳しくは前述の手順を参考にしてください。

- 1 センサーキャップを開き、マウスピースを取り付ける  
※ マウスピースを使用せず、息を吹きかけるオープンブロー方式で測定することもできます。
- 2 本体側面の「大ボタン」を長押しして、電源を ON にする
- 3 息を吹き込む  
カウントダウン後、「ピッ」と音が鳴り「Go-」と表示がでたら息を吹き込んでください。
- 4 測定結果の表示  
測定完了後は「ピピッ」と電子音が鳴り、測定結果が表示されます。  
※ エラーの場合は、(P.19)をご参照ください。
- 5 電源を OFF にする  
測定後は「大ボタン」を長押しし、電源を切り（OFF と表示されます）、マウスピースを取り外し、センサーキャップを元通りに戻してください。

# センサーの定期点検について

## センサーの定期点検方法

本製品は、定期的にアルコール（エタノール）などで反応チェックをしていただくことをおすすめします。

例：アルコール（エタノール）を含んだ口臭スプレーを口に含み、少し時間をあけて息を吐くなど



### 注意

高濃度なアルコールガスを頻繁にセンサー部へ吹き付けしないでください。  
センサーの故障の原因となります。

## 正しくお使いいただくために



### 注意

- ・アルコール成分以外の一酸化炭素、揮発成分、化学物質などに反応することがあります。洗口剤の使用、喫煙、薬の服用などをした場合は水でうがいをした後、最低 20 分以上経過してから測定してください。

※ アルコール以外でも反応する可能性があるもの

- ① 食事後（特にパンや納豆等発酵食品摂取後）
- ② 栄養ドリンクや飲料摂取直後
- ③ 喫煙直後
- ④ 薬の服用後
- ⑤ ガムやタブレットを食べた直後
- ⑥ 歯磨きや洗口剤使用後
- ⑦ 口臭による場合
- ⑧ 体内からの発行ガスで反応する場合

上記のような場合は、測定直前には必ず水でうがいをし、飲食や喫煙をした場合は 20 分以上経過してから測定してください。

- ・ 周りにおいのある場所、風が強い場所、高温多湿の場所での測定は避けてください。（適正使用温度/湿度 0℃～35℃/80%RH 以下）
- ・ 続けて測定する場合は、本体内部に溜まっている雑ガスを取り除くため、本体を軽く 2～3 回振ってください。（強く振らないでください）
- ・ アルコールを検知した場合は、1 分以上時間を置いて測定してください。センサーが初期状態になるまではエラーが発生しやすくなります。

# 故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。  
解決方法が見つからない場合は、お買上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	電池は入っていますか？	単4形アルカリ乾電池 2本を正しく入れてください。
	電池の⊕⊖を逆に入れていませんか？	⊕と⊖を正しく入れてください。
	マンガン乾電池や充電式電池（小型二次電池）を挿入していませんか？	マンガン乾電池や充電式電池は使用できません。単4形アルカリ乾電池を使用してください。
測定時にエラー「---」表示になる	息の吹き込みが少ない、または息を吹き込む時間が短いなど、正しく吹き込んでいますか？	「測定する」（P.14）を参照の上、正しく測定してください。
	マウスピースが正しく挿入されていますか？	マウスピースを吹き込み口からその奥までしっかりと挿入してください。
	細いストローを使用していませんか？	付属のマウスピースまたは外径6mmのストローをご使用ください。
測定値が安定しない	においが強い場所で使用していませんか？	場所をかえて測定してください。
	吹き込み口に水滴が付着していませんか？	水滴をよく拭き取ってからご使用ください。
飲酒していないのにアルコール反応がでる	アルコール検知器本体や吹き込み口の内部においが溜まっていますか？	アルコール検知器本体を2~3回振って、内部に溜まったにおいや湿気を取り除いてください。
	アルコール（エタノール）成分を含んだ料理や発酵食品、ミントフレーバー食品、ドリンク剤やアルコール種の甘味料を含む清涼飲料水などの飲食や洗口剤の使用、喫煙などの直後に測定していませんか？	水でよくうがいをし、20分以上経過してから測定してください。 ※ タバコの煙などにセンサーが反応することがあります。 ※ 人によっては体内からの発酵ガスや、義歯安定剤などの使用によりセンサーが反応する場合があります。
飲酒しているのにアルコール反応がでない	息の吹き込みが弱い、または吹き込み時間が足りていませんか？	「測定する」（P.14）を参照の上、正しく測定してください。

# その他

## メンテナンス

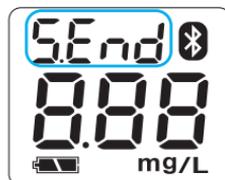
本製品の残使用回数が約 1,200 回に到達すると、T.CHE が表示されます。使用頻度の目安としていただき、使用期間を再度ご確認ください。（保証期間は使用回数 2,000 回または購入後 1 年間となります）

また、使用回数が 2,000 回に到達すると、センサーの測定精度が保てなくなり、液晶画面に「S.End」が表示されます。その後、使用できなくなりますので、本製品を新規購入してください。

残回数約 1200 回以降



残回数ゼロ



※ センサーの使用回数が 2,000 回に達しなくとも、購入後 1 年を超えると精度が保てなくなります。

そのため、S.End マークが表示されない場合でも購入日より 1 年が経過しましたら、本製品を新規購入してください。

### お知らせ

- 使用回数は 2,000 回からカウントダウンされ、残り 0 回になった時点で「S.End」が表示された後、使用できなくなります。

### 使用残回数の確認方法

本体横の「大ボタン」を長押しすると電源が ON になり、画面上方に「残回数」が表示されます。

使用開始直後、2000 回からご使用回数ごとにカウントダウンします。0 回になると「S.End」が表示されご使用できなくなります。カウント値表示後は自動的に測定画面に入ります。

2000 回からカウントダウン表示



## 主な仕様

電源	DC 3 V 単 4 形アルカリ乾電池 2 本
使用温度/湿度	0 ℃～35 ℃/ 80 %RH 以下
保管温度/湿度	-10 ℃～60 ℃/ 80 %RH 以下
外形寸法	約 120 mm x 約 31 mm x 約 23 mm
質量	約 69 g
主な材質	本体ケース：ABS 樹脂
検知方式	半導体式ガスセンサー
表示方式	LCD デジタル表示 0.00 mg/L および 0.05 mg/L～1.00 mg/L ※ 0.05 mg/L 未満は 0.00 mg/L を表示
製品保証	2,000 回ご使用または 購入後 1 年間のどちらか早い方
付属品	保証書 単 4 形アルカリ乾電池 (2 本) マウスピース (3 本)

### ■ 商標について

- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android は、Google LCC の商標または登録商標です。

## 保証とアフターサービス

### 保証について

**保証書** : この製品は、保証書を添付しております。  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

**保証期間** : お買い上げ日より1年間、または使用回数2,000回（どちらかの早い方）です。

### 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ・ ホームページ

<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

- ・ JVCケンウッドカスタマーサポートセンター  
0120-2727-87(固定電話からはフリーダイヤル)  
0570-010-114(携帯電話からはナビダイヤル)  
045-450-8950(一部IP電話など)/FAX 045-450-2308  
受付時間などは、添付の保証書を参照してください。

### 修理を依頼されるときは

(「故障かな?と思ったら」(P.19))を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

- ・ 保証期間中は

保証規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご相談の際は保証書に必要事項を記入の上、ご提示ください。本製品以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書および保証規定をご覧ください。

- ・ 保証期間経過後は

修理対応による機能維持ができないため、新規でのご購入をお願いいたします。

- ・ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後2年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- ・ 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。製品を修理のために、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターへお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

- ・ 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です）

**技術料** : 製品の故障判断、部品交換など故障個所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機等設備費、一般管理費等が含まれます。

**部品代** : 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

---

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。  
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)  
0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)  
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308  
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12  
受付時間 月曜～金曜： 9:30～18:00  
土曜： 9:30～12:00、13:00～17:30  
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。